

平成28年度 御幸が原小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

人権尊重の精神を基盤に，児童が自立と共生を果たし，これからの時代を生涯にわたり創造的にたくましく生き抜くための「人間力の基礎」を培う。

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

児童の成長には，良き人との出会いと望ましい集団，心地よい空間が不可欠であることを踏まえ，教職員が英知と熱意を結集し，家庭・地域と共に一体感のある活力に満ちた教育活動を展開する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 児童は発展途上にあり，教育を通して社会的自立と共生に向けた成長を遂げていく存在である。教育環境としての学校・教職員の存在は絶大であることを常に念頭に置いて職務に当たる。
- (2) 教職員への信頼感や安心感なくして，指導は心に響かない。個人差に配慮しながら，認め・ほめ・励ます指導と，優しさと厳しさのバランス・順序性に留意した指導に努める。
- (3) 発達段階に応じた学習や体験を十分に積ませ，基礎・基本の習熟と思考力・判断力・表現力の育成，学ぶ・学び合う楽しさや喜びの体得を図り，将来への発展・可能性につながる指導に努める。
- (4) 様々な機会をとおして，児童が活躍する場を意図的に仕組むことにより，児童が主体的・自律的に自分たちの学校をよりよくしていこうとする機運が高まる指導に努める。
- (5) 教職員は常に課題意識をもって校務や指導に係る工夫改善や自己研鑽に努めるとともに，闊達な交流による連帯協働と学び続けるチームとしての教育力向上に努める。
- (6) 鬼怒地域学校園の小・中学校との連携を図り，各種取組の一層の推進に努める。
- (7) 保護者との良好な関係構築に努め，共に児童の成長に携わる者として連携を図る。
- (8) 校外の人材や事業所など地域の教育資源を積極的に活用し，多様な教育活動を展開することにより，指導効果を高めるとともに，児童が将来に向けて視野を広げていく機会となるように努める。

【鬼怒地域学校園教育ビジョン】

自立 ～よりよい判断をし，学習や学校生活に意欲をもって取り組む子どもの育成～

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

- ・より実効性のある学校運営に向けた校務・支援体制の構築と地域連携の推進

【学習指導】

- 授業力の一層の向上と学習内容の定着を図るための指導の強化
- ・コミュニケーションを図りながら学び合い，高め合う児童の育成
- ・個に応じた支援の体制・方法の整備・充実

【児童生徒指導】

- 自他を大切にし，相互に認め励まし合う児童の育成
- ・よりよい学級・学校づくりへの参画意識と行動力を高める指導の強化

【健康（保険安全・食育）・体力】

- 健康な体づくりと安全への意識・態度を高める指導の強化

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所を下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価								
学校運営の状況	<p>A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は、今の学校が好きである」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 児童が意欲的に活動できる学校行事の計画・実施に努めるとともに、<u>児童会・委員会活動など児童の主体的活動を積極的に展開する。</u> ・代表委員会を中心とした委員会活動の活性化</p> <p>② 異学年・幼児・高齢者・地域・学校支援ボランティアなどとのふれあいの機会や交流活動の充実を図る。 ・ふれあい活動の充実</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1023 432 1505 526"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>88.0%</td> <td>88.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>目標値は達成しており、昨年とほぼ横ばいである。委員会活動や縦割り班活動の活性化が図られた。</p> <p>【次年度の方針】 委員会活動をさらに充実させるため、担当者を中心に工夫改善をしていく。 縦割り班活動や異学年交流のメリットを考慮し、それらの活性化を図る。（ふれあい給食やウォークラリーも考えられる。）</p>		H27	H28	児童	88.0%	88.9%		
		H27	H28									
	児童	88.0%	88.9%									
<p>A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、大切なことをしっかり教え、熱心に指導してくれる」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 児童一人一人を見取り、声をかけ、よく話を聴き、よいところは認め、指導すべきところはきちんと指導する。 ・朝、教室で児童を迎える ・児童の話を聴く姿勢を第一に</p> <p>② 保護者との連絡・連携を密にして信頼関係を築き、児童理解や児童指導に生かす。 ・学級懇談や学年だより等の活用 ・連絡帳や電話等での連絡・連携</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1023 1023 1505 1162"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>96.6%</td> <td>96.2%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>89.1%</td> <td>87.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>教育相談等を活用することで、児童一人一人の思いや願いを受け止めることができた。</p> <p>【次年度の方針】 保護者のニーズに対応できるように、学校としてのスタンスやルールを明確にする。 今後も、児童の良さを積極的に保護者へ伝えていく。</p>		H27	H28	児童	96.6%	96.2%	保護者	89.1%	87.2%
	H27	H28										
児童	96.6%	96.2%										
保護者	89.1%	87.2%										
<p>A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒児童・教師の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 「みはらのきまり」をもとに週の生活目標を設定し、全職員が同じ姿勢で指導や支援にあたる。 ・週の目標は行動目標とし、同一歩調で指導にあたる。 ・「みはらのきまり」の見直し</p> <p>② 全職員の共通理解の下、全校体制で組織的に支援に当れるよう、報告及び情報交換を確実に行っていく。 ・事例研究会や児童指導対策会議（毎月）の実施</p>	A	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1023 1572 1505 1711"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>76.4%</td> <td>71.0%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>64.7%</td> <td>59.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「みはらのきまり」が守られているかなど、確認の機会がクラス裁量になっており、意識付けの徹底が不十分であった。</p> <p>【次年度の方針】 ・「みはらのきまり」を見直し、焦点化を図る。 ・委員会が活発に活動しているので、「みはらのきまり」から下した活動を各委員会で行えるよう計画する。さらに、「めざせスーパーみはらっ子」の活動を連動させていく。</p>		H27	H28	児童	76.4%	71.0%	教師	64.7%	59.5%
	H27	H28										
児童	76.4%	71.0%										
教師	64.7%	59.5%										

A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。

【数値指標】

全体アンケートの「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」
⇒児童の肯定的回答
80%以上

○① 指導目標を明確にし、分かる授業を目指して指導法の工夫や教材教具の工夫に努める。

- ・学習課題の明確化、提示
- ・板書計画
- ・「分かる授業」チェックリストの活用

② T Tや少人数・習熟度別による指導を充実させ、成就感を味わわせるとともに補充のための学習を充実させる。(3学年～)

③ 朝の学習の充実

【達成状況】

	H27	H28
児童	94.4%	94.4%

ここ数年、この項目は95%近い達成率となっている。「分かる授業・楽しい授業」に取り組むことができた。学習課題を明確化し、まとめや振り返りを重視して授業を展開してきた。一人一授業を通し、指導法の共有化を図った。

【次年度の方針】

分かる授業の共有化のため、一人一授業を実施する。児童の実態を把握し、少人数指導や習熟度別学習など学習形態を工夫し、きめの細かい指導を行う。

朝の学習を利用し、漢字・計算オリンピックを実施し、学習意欲を高め、基礎・基本定着の一助としたい。

A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。

【数値指標】

全体アンケートの「学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる」
⇒教職員の肯定的回答
80%以上

① いじめの早期発見・早期対応のためのアンケートを実施し(年6回)、気になる児童への教育相談を行う。

② いじめゼロ強調月間(5月・9月)の取組を実施し、いじめは決して許されないことを理解させる。

③ いじめ対策における学校での取組みを、学校だより等で保護者に伝え、連携を図る。

【達成状況】

	H27	H28
教職員	94.3%	97.3%

・今年度は委員会が中心になって活動を継続したために、意識が高くなってきたと考えられる。

【次年度の方針】

・引き続きいじめの早期発見・早期対応に努めるとともに、いじめゼロ委員会との連携を図っていく。

A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている

【数値指標】

全体アンケートの「自分は、学校での生活や様々な活動が充実している」
⇒児童の肯定的回答
80%以上

○① 学校評価を踏まえた教育課程を確実に実施し、学校行事・授業参観の実施後、職員間での話し合いや保護者によるアンケート等により、工夫改善を図る。

【達成状況】

	H27	H28
児童	90.8%	88.4%

教職員の学校評価により、それぞれの立場で振り返りや見直しを行うことができた。

【次年度の方針】

さまざまな行事や取組の良い点は踏襲し、今までの方法にとらわれず、工夫や改善を図っていく。

A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。

【数値指標】

全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」

⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上

① 学校だより、学年だより、ホームページ等で、必要な情報を積極的に発信する。

② 「うつのみやオープンスクール」を含め、学校公開日に地域の参加者が多くなるよう呼びかけを工夫・強化する。

【達成状況】

	H27	H28
保護者	96.9%	96.0%
地域	100%	87.5%

ホームページの充実により、学校の情報を多くの方々に発信することができた。

【次年度の方針】

学校全体としての情報を提供するとともに、各学年の行事についても、積極的に最新の情報をホームページで発信していく。

A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。

【数値指標】

全体アンケートの「自分は、地域や企業の方々と一緒に活動したり勉強したりすることで、学習が充実し楽しい」

⇒児童の肯定的回答 80%以上

① 「魅力ある学校づくり地域協議会」と積極的に連携・協力し、学校運営の充実を図る。

② 企業や専門家派遣の出前授業、街の先生、学校支援ボランティアを活用した授業を各学年1回以上実施する。

【達成状況】

	H27	H28
児童	91.0%	90.0%

各学年とも、出前授業や学校支援ボランティアを活用することで、充実した学習活動となった。

【次年度の方針】

今年度同様に、地域や企業等の教育力を有効に活用し、学習効果を高めていく。

A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。

【数値指標】

全体アンケートの「学校は、清掃が行き届き、学習しやすい環境である」

⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上

① 清掃の行き届いた校内を目指し、清掃活動に力を入れる。
・学級中心の班での清掃活動
・清掃用具の後片付けの徹底
・身支度の徹底や反省の仕方の見直し

② 教室掲示（黒板上）の統一

③ BGMの効果を教育活動に生かし、落ち着きと潤いのある学校環境に努める。

【達成状況】

	H27	H28
児童	84.8%	72.8%
保護者	90.6%	84.9%

・数値は下がったが年同中ごろから実施している「きれいずきマッチョマン」で清掃の様子は良くなってきている。

【次年度の方針】

年度途中から実施している「きれいずきマッチョマン」を継続し、清掃への意欲を高める。

清掃用具の補充方法を見直し、清掃活動を充実させる

	<p>B1 学校は、人権尊重及び自他の生命や存在を大切に する児童の育成に取り組 んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生は、 自分の話や悩み・相談などをし んげんに聞いてくれる。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① どの子にも居心地のよい学級づ くりを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間1回、授業参観時に道徳の 授業を実施 ・Q-Uテストの実施、事例研究会 実施、活用 <p>② 人権教育を全校体制で推進し、 自他を大切に思う心や態度・実践 力の育成に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>94.4%</td> <td>92.4%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>84.6%</td> <td>80.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・数値は若干下がったが、教育相談や日頃の 学級経営での取り組みの結果、相談できる雰 囲気が継続されていると伺える。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・引き続き指導を継続していくとともに、人 権に関する標語などを児童の目に触れる場所 に掲示し、啓発を図る。</p>		H27	H28	児童	94.4%	92.4%	保護者	84.6%	80.5%			
	H27	H28													
児童	94.4%	92.4%													
保護者	84.6%	80.5%													
教育 活 動 の 状 況	<p>A10 児童は、進んであい さつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童 は時と場に応じたあいさ つをしている」 ⇒児童・教師・地域住民の 肯定的回答80%以上</p>	<p>① 児童会（あいさつ委員会）が 中心となってあいさつ運動を実 施する。（毎週金曜日の朝実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級懇談会時にあいさつ励行を 保護者に伝える。 ・学校だより等であいさつを促す。 ・あいさつ標語・ポスターの募集。 <p>② 地域連携及び地域学校園で共通 課題として、あいさつ運動を展開 する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>83.9%</td> <td>79.8%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>57.1%</td> <td>52.6%</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td>78.3%</td> <td>83.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・あいさつに関しては非常に力を入れて指導 や活動を行ってきた。「しているつもり」では なく、「相手に伝わるあいさつ」を励行したた め、児童のあいさつへの捉え方の変化が起き ていると考えられる。年々確実に、あいさつ ができる児童が増えていると実感できるの で、引き続き「相手に伝わるあいさつ」を励 行していきたい。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・あいさつ運動やあいさつ委員会の活動など を引き続き行っていく。さらに、あいさつ励 行を教職員同一歩調で進めていく。</p>		H27	H28	児童	83.9%	79.8%	教師	57.1%	52.6%	地域	78.3%	83.3%
	H27	H28													
児童	83.9%	79.8%													
教師	57.1%	52.6%													
地域	78.3%	83.3%													
	<p>A11 児童は、正しい言葉 づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童 は時と場に応じた言葉づ かきをしている」 ⇒児童・教師・地域住民の 肯定的回答80%以上</p>	<p>① 発表の仕方、敬語の使い方等 について学年の発達段階に応じた指 導をする。</p> <p>② 「ふわふわ言葉」「学級で使っ ていきたい言葉」をもとに、思いや りに満ちたコミュニケーションの 醸成を図るとともに、学校だより 等で保護者に伝える。</p> <p>③ 国語・道徳等で正しい言葉づか いについて指導をする。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>71.1%</td> <td>69.2%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>40.0%</td> <td>44.7%</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td>65.2%</td> <td>95.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・教師間の共通理解や教室掲示などが不十分 であった。児童自身が正しい言葉づかきが できていると実感できる機会も不十分であ った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・各学年・各学級で引き続き指導していくと ともに、各学級の掲示物の統一を図り、教職 員が共通理解のもと指導にあたるようにし ていく。</p>		H27	H28	児童	71.1%	69.2%	教師	40.0%	44.7%	地域	65.2%	95.8%
	H27	H28													
児童	71.1%	69.2%													
教師	40.0%	44.7%													
地域	65.2%	95.8%													

健康・体力

B2 児童は、健康に気を付けて生活をしている。
【数値指標】
 全体アンケートの「児童は、自分の健康に気を付けて生活している。」
 ⇒保護者の肯定的回答
 80%以上

① 昨年度の生活についての実態調査をもとに（特に睡眠時間・食生活）、家庭との連携を図り啓発や指導をする。（学年だより等で結果や指導について取り上げる。）

B **【達成状況】**

	H27	H28
保護者	77.3%	78.5%

・今年度は目標をこえることができた。養護教諭を中心とした職員の連携が図られ、児童にも良い影響になっている。
【次年度の方針】
 今後も教職員が連携して、児童の健康への意識を高めていく。

A12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。
【数値指標】
 全体アンケートの「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している。」
 ⇒児童・教師の肯定的回答
 80%以上

○①自ら健康や体力作りに励めるように体育や学校行事・特別活動等の工夫に努める。
 ・みはらチャレンジギネス
 ・マッチョマンだよりの発行
 ・外遊びの励行

B **【達成状況】**

	H27	H28
児童	84.4%	87.8%
教師	82.9%	89.2%

・昨年度よりも数値が伸びた。外での運動が定着しつつある。
【次年度の方針】
 引き続き外遊びを励行し、外に出て元気に遊ぶよう、担任からの呼びかけを強化していく。

A13 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。
【数値指標】
 全体アンケートの「自分は、好き嫌いなく食べている」
 ⇒児童の肯定的回答
 80%以上

① 食育の充実を図る。
 ・教育相談を活用した個別指導の強化
 ・各教科での食に関する指導
 ・給食だよりの発行
 ・お弁当の日の活用
 ・好き嫌い克服メニューの工夫

A **【達成状況】**

	H27	H28
児童	72.0%	69.5%

・今年度は数値が下がってしまった。今後も好き嫌い克服に向けた対策が必要である。
【次年度の方針】
 今年度の取り組みを継続しつつ、各教室で子供が苦手な食べ物を食べられたことなどを励まして、食への関心を高めていく。残食が減ってきていることを今まで以上に発信していく。

B3 児童は、積極的に運動に取り組んでいる。
【数値指標】
 全体アンケートの「体育の授業などで、自分の記録や技を伸ばそうと努力をしている。」
 ⇒児童の肯定的回答
 80%以上

① 水泳検定・縄跳び等のカードを有効に活用する。
 ② みはらチャレンジギネス・ドッジボール大会・長縄跳び大会等の実施により、目標を持って練習する意欲を高める。

B **【達成状況】**

	H27	H28
児童	83.8%	89.3%

・昨年度より数値が伸び、9割に近づいてきている。継続してきた成果が表れている。
【次年度の方針】
 昨年度よりも達成状況が良くなってきていると考えられるので、取り組みを継続していく。

A14 児童は、進んで学習に取り組んでいる。
【数値指標】
全体アンケートの「授業中進んで話し合うなど、積極的に学習している」
⇒児童・教師の肯定的回答 80%以上

- ① 話し合いの仕方の指導
- ② 漢字の読み書きや計算力定着を図る指導の充実を図る。
 - ・国算チャレンジタイム等を活用した学習支援の充実
 - ・宮っ子ステップアップシートの活用
- ③家庭学習習慣の確立のための工夫を図る。
 - ・「家庭学習の手引き」の活用
 - ・保護者への協力依頼
 - ・自主学習ノートの活用

【達成状況】

	H27	H28
児童	86.2%	84.5%
教師	73.5%	91.9%

児童の評価は昨年並みであったが、教師の肯定的回答が9割を超えた。指導者が、話し合う活動を意図的・計画的に展開してきた結果である。朝の学習では、概ね全校で継続的に読書、国語・算数チャレンジが実施できた。

【次年度の方針】

チャレンジタイムは継続し、全校で足並みを揃えて進めていく。その学年相応の自主学習を勧め、家庭学習がさらに充実するよう様々な場面で指導する。一人調べ、ペア学習、グループ学習、一斉指導などをねらいや学習内容に合わせて、効果的な指導形態を工夫していく。

A15 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。
【数値指標】
全体アンケートの「授業中話をよく聞くなど落ち着いて学習している。」
⇒児童・教師の肯定的回答 80%以上

- ①基本的な学習態度・技能（聞く・話す）の育成に努める。
 - ・「話し方」「聞き方」の合言葉を作成し、教室掲示をして活用する。
- ② 学びに向かう集団づくりのための学級経営の充実を図る。
 - ・自由に情報や意見を交換し合う場の設定
 - ・自分の考えを的確に表現するとともに、他者の考えを尊重する能力と態度を育成する。
 - ・クラス目標の掲示とその達成に向けた全員での協力と努力

【達成状況】

	H27	H28
児童	81.5%	77.1%
教師	85.3%	86.5%

児童・教師ともに横ばいである。児童の学習態度、とりわけは「話す・聞く」態度が身に付きつつある。

【次年度の方針】

児童がお互いに認め合える、学習の基盤としての学級経営をさらに充実させていく。

B4 児童は、本の楽しさを味わっている。
【数値指標】
全体のアンケートの「児童は、読書を楽しんでいる。」
⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上

- ① 読書意欲の向上を図るための環境・指導の充実を図る。
 - ・担任・司書嘱託員やボランティアによる読み聞かせの充実
 - ・みはら読書タイム・図書まつり(委員会)・お話し会
 - ・家読のすすめ【親子読書等】

【達成状況】

	H27	H28
児童	84.8%	83.1%
保護者	63.2%	63.2%

児童・保護者の肯定的回答はほぼ横ばいである。児童に対しては、図書委員活動やオリジナルしおり作り等で読書への興味・関心を高めることを行った。児童よりも保護者の達成状況は低く、保護者への啓発を進めているが、未だ限定的である。

【次年度の方針】

家読を次年度も進める。また、親子読書を実施し、提出された読書カードを提示して、さらに広く保護者に広げていく。

本校の特色・課題等	B5 学校は、「自分を伸ばし、仲間と伸びる児童」を育てる教育活動を工夫している。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、『自分を伸ばし、仲間と伸びる児童』を育てるために、児童会活動の活性化に努めている。」 ⇒地域住民の肯定的回答 80%以上	① 児童の発想を生かした児童会活動や、仲間と力を合わせて取り組む学校行事の内容充実を図る。 ・あいさつ運動や地域清掃活動等、児童の発想を生かした委員会活動 ・児童によるスローガン募集と運動会運営 ・募金活動等	B	【達成状況】		
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td colspan="2">100%</td> </tr> </table> <p>A1に見られるように、委員会活動や縦割り班活動の活性化が図られた。</p> <p>【次年度の方針】 委員会活動をさらに充実させるため、担当者を中心に工夫改善をしていく。</p>				H27	H28
	H27	H28				
地域	100%					

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・昨年度の結果と比較すると、全体的に教職員・保護者・地域の肯定的回答の割合は横ばいである。
- 「授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序ある安全な学校づくり」については、教職員・保護者・地域・児童、全対象で昨年度を下回っている。しかし、保護者や地域と連携を図りながら、全職員一丸となって取り組んだので、子どもたちは落ち着いた学校生活を送ることができようになってきた。
- あいさつや言葉づかい、食育については、少しずつ改善されてきてはいるが、まだ目標値は達していないので、今後も保護者・地域・地域学校園との連絡を密にし、地域ぐるみで、あいさつ・正しい言葉づかい及び食育に関する運動を展開していく必要がある。

6 学校関係者評価

- ・昨年度に引き続き、肯定的回答率が高く、学校の教育活動や取り組みについてのご理解を得て高い評価をいただいた。
- ・以前に比べ学校内が明るく活気が感じられる。今後も続きますように。
- ・学校のホームページが更新されていて様子がよくわかる。
- ・自分で考える授業をしているのがよいと思った。
- ・学校は、地域に対する要望、希望、相談を投げて欲しい。
- ・先生方は子どもに内容が分かるように説明しているが、話を聞かない子もいる。
- ・机の並べ方が学習しやすい環境であり、児童が落ち着いて学習していた。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- 来年度も、教職員の資質向上を図り、より一層「分かる・楽しい授業づくり・思いやりと規律ある学級づくり」の推進に努め、信頼のある学校づくりを目指していく。
- あいさつや言葉づかい、決まりを守ることにについては、保護者・地域や地域学校園との連絡を密にし、地域ぐるみで、あいさつ・正しい言葉づかい・決まりを守ることにに関する運動を展開していく。食育についても、家庭や地域学校園と連携を図りながら進めていきたい。
- ・これからも地域協議会と連携し、ご意見をいただきながら、教育支援ボランティアの活用や安全面での支援・地域行事への積極的参加を通して、保護者・地域と共に歩み、開かれた学校づくりをしていく。